

おむつ交換にドキドキ

戸田中央看護専門学校 小中学生が看護体験



戸田市本町の戸田中央看護専門学校(中村毅学校長)で10日、小中学生を対象に「わくわくドキドキ看護学校体験」が行われ、参加者30人が

参加した。今年で3回目。参加者は白衣とナースキャップに着替え、小学3〜5年生と小学6年生、中学3年生の2グループに。同校教員

ダミー人形の赤ちゃんを使っておむつ交換を体験する中学生
戸田市本町の戸田中央看護専門学校

や学生の指導で、手の洗い方からナースコールへの対応、妊婦体験、赤ちゃんの抱き方、おむつ交換などを学んだ。

赤ちゃんの抱き方体験では、ダミー人形が新生児と同じ重さで首がすわっていないことから、戸惑った参加者も。戸田市の小学4年生の前泊(まえどまり)純さん(9)は「赤ちゃんの頭がグラグラして抱き方が難しかった」と話した。

蕨市の中学1年生、長壁夢羽さん(12)は看護師になるのが将来の夢という。「入院したときに看護師さんが優しく接してくれた。私も将来は優しい看護師になりたい」と笑顔を見せた。

学校関係者は「体験を通してより看護師の仕事に関心をもってもらい、将来につながればうれしい」と期待を込めていた。